能登香の里
あわい村
No. 105
発行
令和５年　１月１６日
粟井地区自治振興協議会
事務所：福祉センター
７６－０３３４
AWAIMURA.COM

粟井地区村創りの会

第９回　「とんど祭り」

【一月十四日】

今回の火入れは、卯年生まれの岩城君でした。

お正月の風物詩となっている「とんど」、粟井小学校閉校の年、平成二十七年に第１回として再開し、今年は９回目を迎えた。

天気が心配な中、今年もみんなで「無病息災」「家内安全」「農作物の豊作」を祈りました。この火で餅やだんごを焼いて食べると無病息災であるとか，書初めを焼いて高く飛ぶと手が上がるとかいうそうですが、本来は，供物を焼きあげ，新年の祈願をささげる行事らしい。

今回も「粟井福祉ボランティアの会」のみなさんにぜんざい作りなどで協力して頂き、大勢で賑やかに楽しく行うことが出来た。

校舎運営委員会

一月二十七日（金）予定の、「校舎運営委員会」では、

①幼稚園部分を**民間施設（放課後等デイサービス）**として、活用することについて協議します。

②旧粟井小学校を、粟井地区の集会所として位置づけることに決まりましたが、まだ、名称が決まっていません。**名称を決めます。**粟井地区センター、粟井地区集会所、粟井小学校集会所など、みなさんの自由な意見を、各区の区長か校舎運営委員会の委員までお寄せください。

粟井駐在所より

■地域安全推進委員会　**【十二月二十四日】**

新任の松永美作警察署長と大倉警部補を迎えて、地域安全推進委員会を開きました。署長の挨拶の後、大倉警部補より最近の交通事故、詐欺事件等のお話を聞きました。交通事故は国道４２９号線の四つ角～小野の区間と梶原が多いことが報告されました。詐欺被害の手口とその対処法についても詳しい説明がありました。幸い今年は大きな事件事故がなくホッとしているところです。

能登香の里小房運営委員会

【十二月二十四日】

・今年度の収支決算は、昨年度よりやや回復し、ほぼとんとんで済みそうです。
・来年度の要望事項は、指定管理料の増額と、たわだ池散策道・キャンプ場管理道の整備です。
・ログハウス地下倉庫は、消防法に反するため使用禁止処置となりました。
・今冬も外トイレの凍結防止のため、三月中旬頃まで使用禁止とし、閉鎖します。

おめでとうございます。

■作東方面隊　隊長に横林秀樹氏

十二月一日より、粟井中　横林秀樹さんが、消防団作東方面隊の隊長に就任されました。責任ある大役ですが、美作市のため作東地域のために活躍されることを心よりお祈りいたします。

粟井地区村創りの会

■もち大豆の脱穀　**【十二月　九日】**

豆用コンバインで脱こくを行いました。収量は約４００ｋｇ、大豊作でした。獣害に遭わなかったことが大きな要因です。しかし、人手不足のため、機械に頼らざるを得ない状況は変わりません。

年末までには乾燥、選別を終え、注文者に配布します。味噌用を確保し、残りは販売します。新年早々には美味しい味噌づくりをはじめます。

■もち大豆の選別　**【十二月二十日】**

讃甘営農組合の中嶋さんの協力を得て、五名の横山サービスの倉庫を借りてもち大豆の選別を行いました。農水部員６名で３時間の作業でした。

今年のもち大豆の受注は、７ｋｇ単位で13口、91ｋｇでした。年内に各家庭に届けます。村創りの会で造る味噌分を残し、余りは豆腐用に出荷します。

１月中旬からは味噌づくりが始まります。

■年末に「正月もち」をつきました。　**【十二月二十四日～三十日】**

年末に正月もちを搗きました。今年の受注量は、丸餅１６０升、８０臼、豆餅他３０升、１５臼、計９５臼を搗きました。一日４人体制で約４時間、延べ人数３０人でした。吉野のきんちゃい館には、量的に遠く及びませんが、年々確実に受注しています。

餅つきをする人の年齢が毎年上がっています。年末ですが、手助け願える人がおられると大変助かります。ご検討下さい。

■小学校の高圧電流撤去

維持費が高額な高圧をやめて、低圧の普通の電流になります。一月十二日に作業。

［編集後記］**新年明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。**

今年は、粟井小学校の集会施設への移行と新しい名称など、粟井地区の新たな一年となります。作東地域も大還橋の拡幅、作東公民館の建て替え、旧江見商の利活用等、江見の町が大きく前進します。その一環で作東総合支所・バレンタインホテルの利活用も急がなければなりません。

粟井地区内の道路も四つ角から鯰までの二車線化が進みつつあります。組織再編・世代交代と共に、もう一度粟井地区の将来像を描く新たな年になり、粟井地区が再度活性化されることを願っています。